

# 国際協働学習における 教師の取り組みのポイントとその効果

## 2030年をめざした教育と日々の教育実践の視点から

### 第5回目の学習会は国際交流！

石川県教育工学研究会では、今年度「アクティブ・ラーニングとメディア活用」をテーマに年間5回の学習会を計画しています。今回は第5回目。じわじわと石川でも広がりを見せている国際交流について参加のみなさんと考えます。



申し込みは Web サイトより  
<http://kokucheese.com/event/index/368553/>

■日時：1月30日土曜日 9時30分～12時

■場所：金沢星稜大学 C51 教室

■主催：石川県教育工学研究会

■共催：金沢星稜大学グローバル教育研究所

■内容：

数年来台湾の学校と国際協働学習である国際共同壁画製作アートマイルプロジェクトを行っている西野教諭の実践の話を手掛かりとして、国連が提唱している2030年までに解決しなければならない課題を教育現場で扱うことの意味を考える。

石川県教育工学研究会  
ってどんな会なの？

石川県教育工学研究会は、子どもたちが「分かる！」授業を追求する教師・大学教員・学生などから構成される研究会です。県教育委員会からの支援も頂いています。

全国で3番目に作られた教育工学の組織です。歴史は古く、数々の諸先輩方がこの研究会で学んでいました。毎年研究テーマを変えながら、学習会、研究発表大会などを行っています。



申し込みは下記 Web サイトより

<http://kokucheese.com/event/index/368553/>